

福井県古民家リノベーションコンテスト (その他用途)

応募者

代表者	会社名	五十嵐文継一級建築士事務所	様式2-1
	住所	福井県坂井市坂井町下新庄12-18-1	事務局使用欄
	電話番号	0776-37-4146	
	その他応募者1	会社名	木沢建築設計事務所(木沢建築株式会社)
	その他応募者2	会社名	

【応募内容】

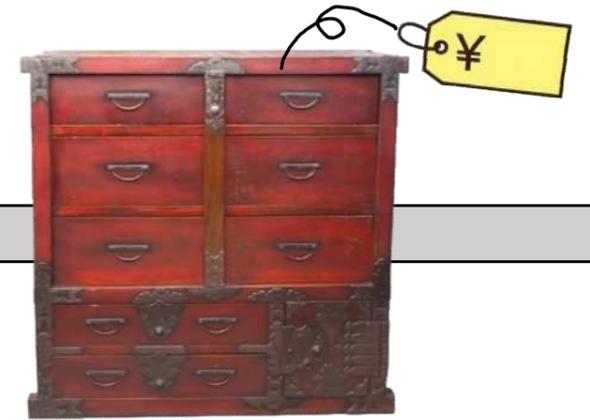
物件番号		タイトル	地元の素材でつくるおばちゃん「まち食堂」に居場所をプラス	リノベーションの範囲	<input checked="" type="checkbox"/> 全体改修	<input type="checkbox"/> 部分改修	※部分改修の場合は改修範囲 <input type="checkbox"/> 居間 <input type="checkbox"/> キッチン <input type="checkbox"/> ダイニング <input type="checkbox"/> その他
概算工事費		¥29,645,000円	改修後の用途	食堂 + 寄り合い所 + 児童館		その他の改修場所	

【コンセプト】

① 11:00~14:00 地元のおばちゃん達が経営する食堂
織田にあった「じんべい」をモデルに、「手づくりで、旬の食材を使って、おふくろの味を、パイキングで、おばちゃんたちの自家菜園の野菜もたっぷり入れた」食堂を提案します。
雇用創出、やりがい、再発見など「食と結びついたお店」は地元で活力をもたらしてくれるはず。

② 15:00~18:00 寄り合い所と児童館
公民館と児童館を兼ねた機能を「間借り」という形で行政が使用します。運営主体には賃料が入り、行政は負担少なく住民サービスが可能になります。
座卓で学校帰りの小学生が宿題をしていますし、おばちゃんたちは明日の料理の打合せなどに忙しいです。

③ 民芸品や三国筆筒などの販売
三国町の家には、三国筆筒や古くて渋い家具、漆塗りの器、陶器の火鉢などがまだまだ眠っています。
料理を並べる台の三国筆筒や様々な小物、おばちゃんたちの安島モッコ刺しなどの民芸品は、それぞれに値札をつけて陳列しておきます。三国の文化を紹介すると同時に展示販売所にもなります。



【改修プランの概要】

① 間取りを生かす
現在の建物は築156年とのことで、柱・梁・天井・建具など非常に立派な作りで保存状態も良好である。建具は修繕して使用可能と考えるが、和室の床組みと畳を刷新する。
キッチンや土間部分は床組みを撤去し、全体をコンクリート土間打ちで耐震強化を行う。

② 外壁・屋根の改修
西側の外壁はやり替え(駐車場からの景観を配慮)その他の外壁や屋根は補修にとどめる。



【工夫点(安心して快適な利用、地域特性・立地条件、コスト縮減等)】

① 織田で20年されてきた食堂運営を見本に。
元気なおばちゃんが三国にも多いはず。
そんなおばちゃんがつくる地元食材にこだわった料理は何よりも安心な「食」を提供してくれると思います。

井戸のあるおばちゃん食堂は、SNSでの注目も高くなる事が予想され、織田での実績を踏まえると、経営的にも実現可能性は高いと考えます。

② 15:00以降のシェア
屋内の子どもの遊び場や児童館が大規模に整備され始めているが、この場所のような、多様な世代が自由に利用する場こそ身近に必要である。学校帰りに畳の上で宿題をする子もいれば、おばあちゃんとお話する子もいる、そんな風景がここで生まれる。

行政が「場所」を借り受けて、賃料を運営主体に支払う仕組みが可能になれば、経営の安定にもつながり、多世代交流も期待できる。

③ コスト縮減
新設する内壁は「耐震強化に必要なもの」「WCなど」に限り、極力既存内外建具を修繕して再利用することによって、古民家の風情を残し、かつ、コスト縮減を図る計画とする。

また、土間部分を大きくとり、床組みの費用を抑え、その部分の天井は撤去、梁表にする。
和室部分は既存天井をそのまま利用、天井裏に断熱材を敷き詰め断熱強化を図る。
水回りは道路からの引き込みが容易な南側に計画。

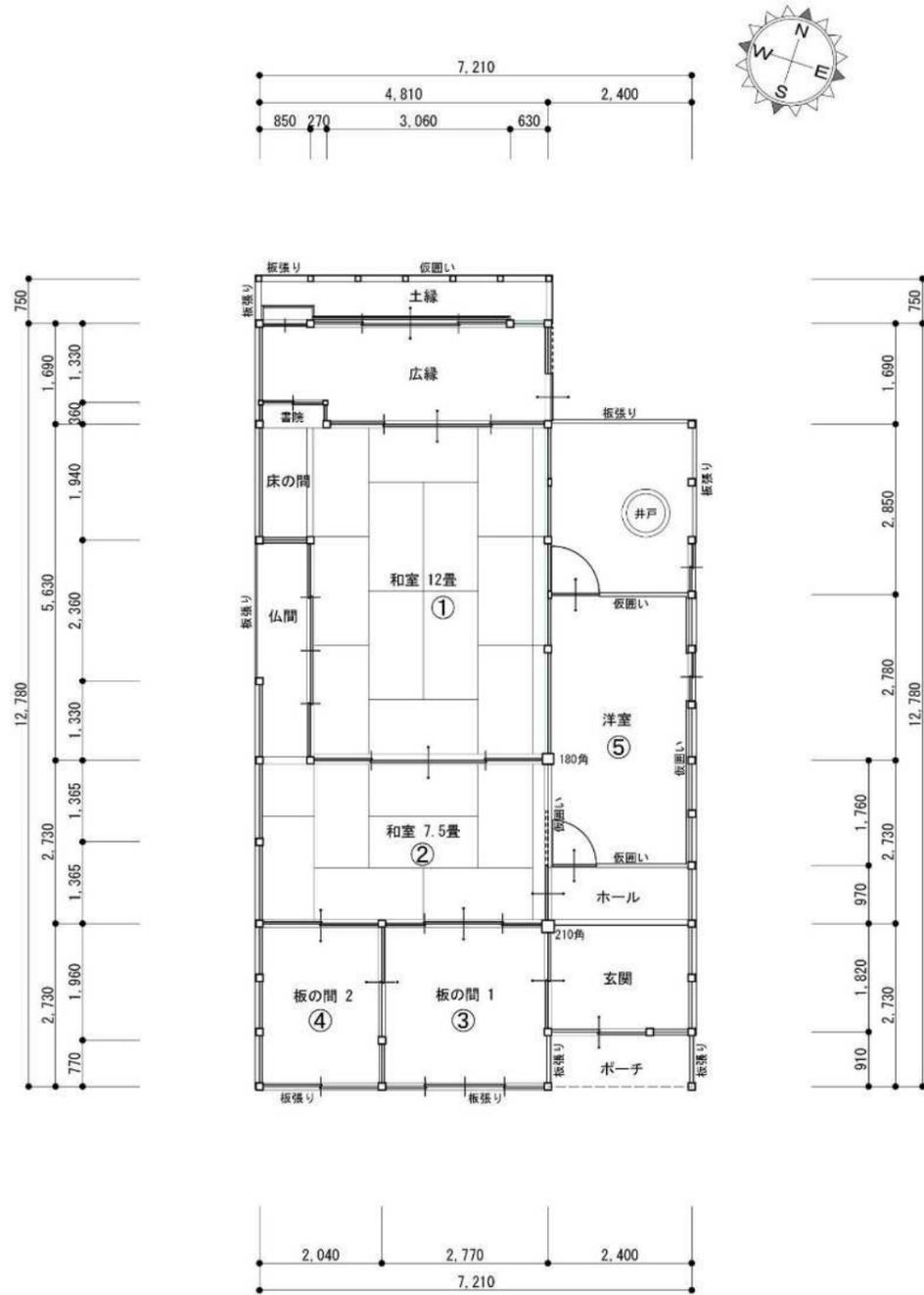


福井県古民家リノベーションコンテスト (その他用途)

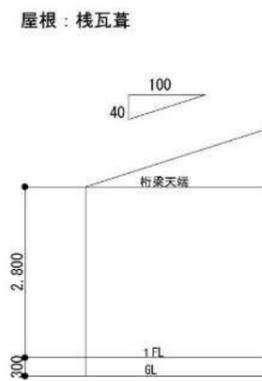
応募者	代表者	会社名	五十嵐文継一級建築士事務所	様式2-2
		住所	福井県坂井市坂井町下新庄12-18-1	事務局使用欄
		電話番号	0776-37-4146	
	その他応募者1	会社名	木沢建築設計事務所(木沢建築株式会社)	
	その他応募者2	会社名		

リノベーション提案(平面図)

Before



1階平面図



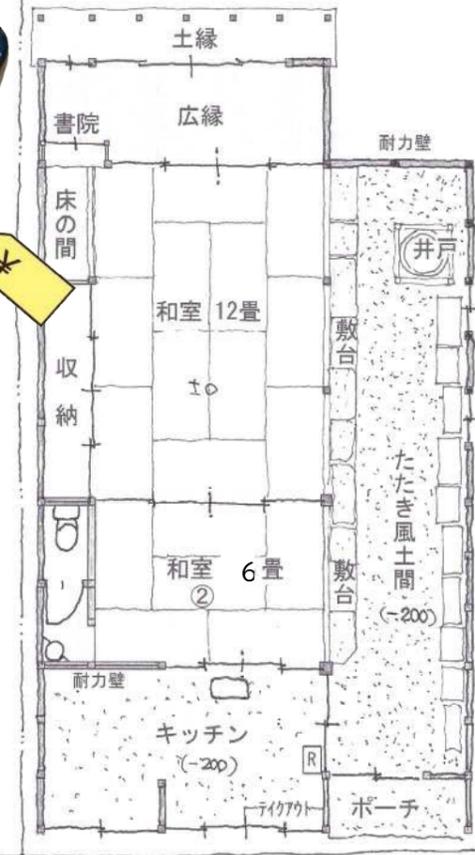
外壁: 土壁 t=45mm
軒の出: 350
ケラバの出: 750

After

たたき風土間には、三国筆筒を並べます。その上に大皿でお惣菜を並べるのですが、入口近くの筆筒の上では三国の民芸品や掘り出し物を陳列販売します。使用している三国筆筒も販売します。



西隣の敷地を駐車場として利用させていただくと有難い。



この建物の特徴である井戸。工事の際に出てくる古材を使ってオブジェ化してみる。井戸のある食堂として注目されることも期待できる。

キッチンは、板の間1と2の床組みを撤去し、コンクリート土間とする。お昼時は、南窓からテイクアウトで手づくりお弁当も販売できる。

キッチンのイメージ



昨年5月、大好きだった織田の食堂が閉店した。地元素材で作ったお惣菜はとても美味だったし、それをランチバイキングで満足いくまで食べることができた。あの味を、あの雰囲気、あの食堂を、もう一度復活させたい。時には駅前的高级レストランもいいが、やっぱり地元の食堂だ!

<https://soar-world.com/2022/01/26/ukihanotakara/>

https://kochi.goguy.net.jp/2024/04/04/open_kiro/

<https://www.zinbe.com/> (2025/1/20)

福井県古民家リノベーションコンテスト (その他用途)

応募者

代表者	会社名	五十嵐文継一級建築士事務所	様式2-3
	住所	福井県坂井市坂井町下新庄12-18-1	事務局使用欄
	電話番号	0776-37-4146	
その他応募者1	会社名	木沢建築設計事務所(木沢建築株式会社)	
その他応募者2	会社名		

リノベーション提案 (イメージパース)



玄関から入ったところ
土間が奥まで続き、右手には三国筆筒が並んでいる。(販売品) 間接照明で照らされた小屋組み。一番奥にはライトアップされた井戸。



和室12畳から土間を臨む
北側の広縁を通して採光がとれ明るい。和室から土間に降り、料理をとってくるバイキングスタイル



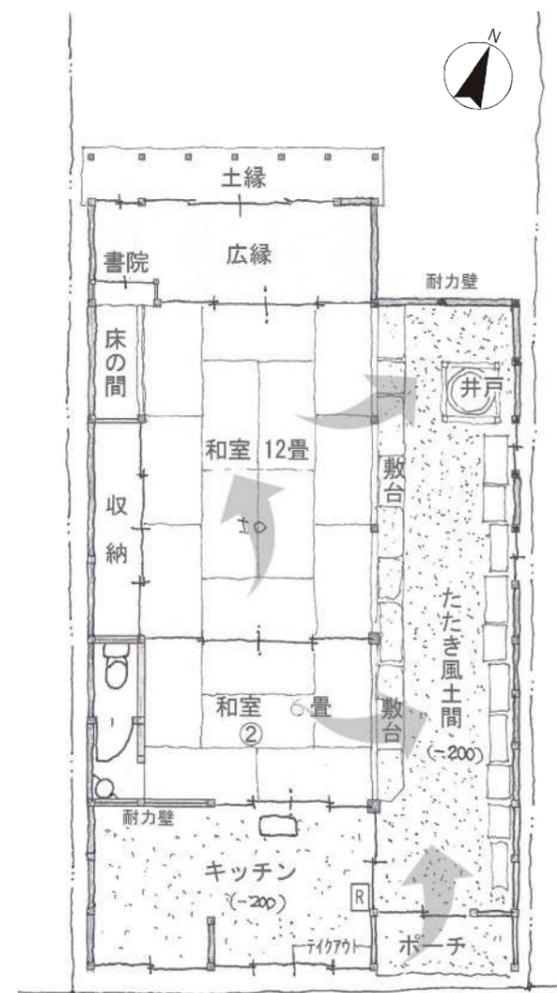
和室12畳より北側広縁を臨む
格天井や床の間は既存のままとし、生け花などで季節感を演出する。仏壇置場は二間の収納として使用する。



和室6畳より土間を臨む
右手はキッチン、左手は和室12畳 天井は既存のまま。畳はスタイロ畳を新設し、断熱とコストに配慮する。



井戸をオブジェ化
既存の井戸を工事で出てきた古材で囲み、オブジェ化する。SNS映えの写真拡散で多くの人に知られることを期待できる。



リノベーション提案 (イメージパース)



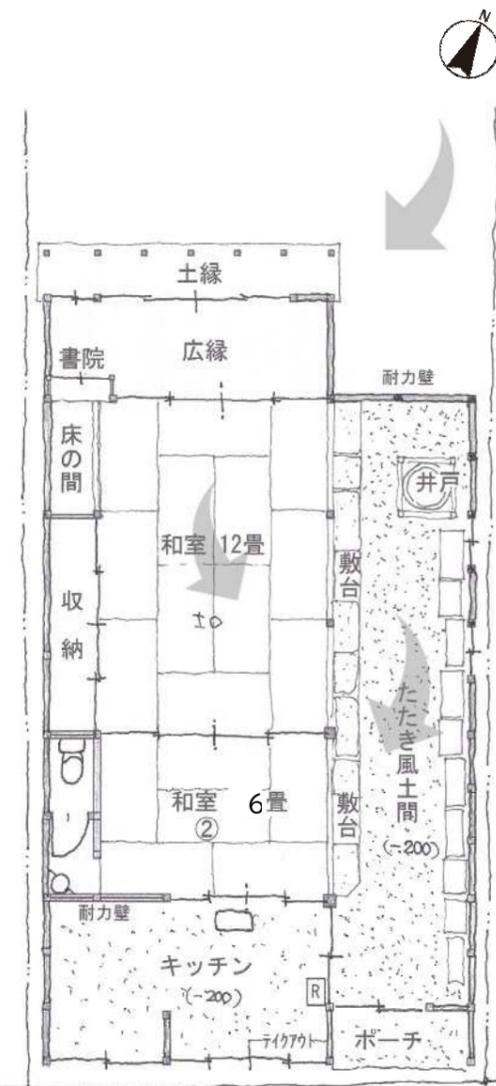
和室12畳より和室6畳を臨む

既存の建具を修繕し再利用。
 右手は収納(旧仏間)、天井は既存の格天井のまま、洋室との間の壁を撤去し、直接土間に降りられるようにした。



土間より玄関・キッチン・和室6畳を臨む

左手の三国筆筒(ご近状からの提供品やこの家に残されていたもの)の上には、料理以外にも安島モッコ刺しなどの民芸品やおばちゃんの手作り菓子などが並ぶ。
 沓脱石は近所の敷地に放ってあった?笏谷石を再利用。



南方向からの外観イメージ



北方向からの外観イメージ

概算工事費

NO	工事種別	工事内容	数量	金額
1	解体工事	解体工事 等	1式	1,800,000
2	仮設工事	仮設足場、トイレ、養生、その他 等	1式	750,000
3	外装工事	外壁(下見板貼)、雨樋、瓦 補修工事 等	1式	3,000,000
4	内装工事	内装工事、土間コンクリート工事、補強工事 等	1式	15,500,000
5	電気設備工事	電気設備、照明器具 等	1式	2,000,000
6	その他工事	防蟻工事、エアコン工事 等	1式	2,400,000
7	諸経費		1式	1,500,000
	小計			26,950,000
	消費税			2,695,000
	合計			29,645,000

注1 様式2の概算工事費と整合すること

注2 概算工事費の工事種別については、適宜修正、追加していただいて構いません。

注3 概算工事費の公表にあたっては、実際に工事をする際に工事費が増加する可能性がある旨を記載して公表するものとする。